

広島ドラゴンフライズのBリーグ・プレミア参入のための 広島県立総合体育館大アリーナの改修について

1 要旨・目的

広島ドラゴンフライズ（以下「ドラフラ」という。）が、2026-27シーズンから始まるBリーグ・プレミア（以下「Bプレミア」という。）に参入するため、参入条件となるアリーナ基準を充足するよう、広島県立総合体育館大アリーナ（以下「グリーンアリーナ」という。）を改修（スイートルームを設置）する。

2 経緯

県は、2026-27シーズンから5シーズン程度を目安に、ドラフラによるグリーンアリーナの暫定利用に協力することとした。

令和5年3月 ドラフラが湯崎知事へ要望書を提出

令和5年7月 利用団体へのヒアリングを踏まえ広島県スポーツ推進審議会で審議

令和5年7月 広島県議会総務委員会で県の協力方針について報告

（主な協力内容）

- 施設管理者は、年間試合数（現行60試合）の半分のホームゲームのうち、8割をホームアリーナで開催できるよう利用調整を行う。
- 新アリーナ基準を充足するための施設の改修（スイートルームの設置）については、時代の変化に合わせたより魅力的な施設となるよう、クラブの負担において改修を行い、県へ寄附するという条件で、承諾する。

3 改修案の内容（スイートルーム設置（案））

（改修主体） ドラフラ

（イメージ） 別紙のとおり。

（工期） 令和7年1月～4月 ※ 県が実施するLED工事に合わせて実施

（設計図面） Bリーグとの調整後、設計に着手する。

4 今後のスケジュール

令和6年10月 Bプレミア審査開始

令和6年12月 Bプレミア審査結果公表

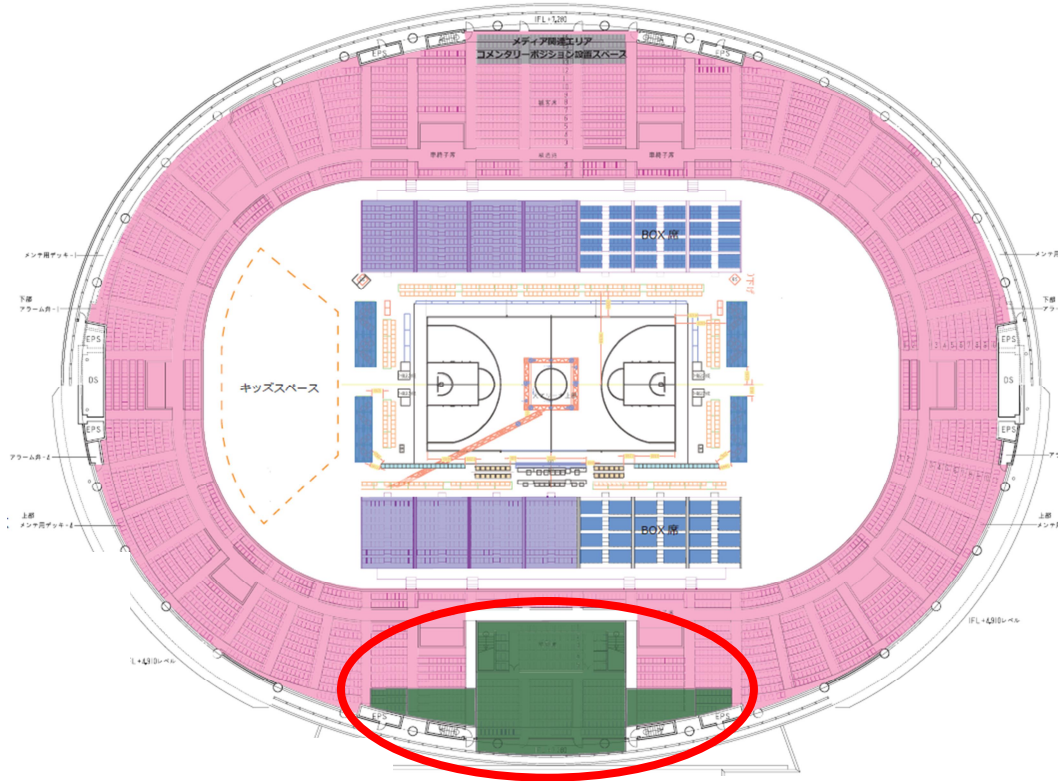
5 予算

—

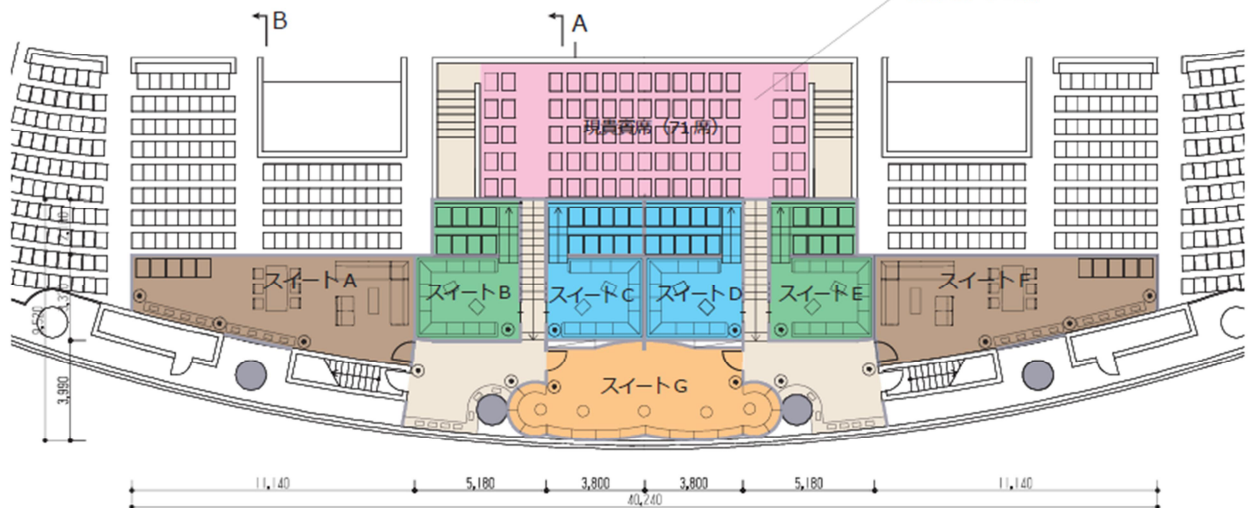
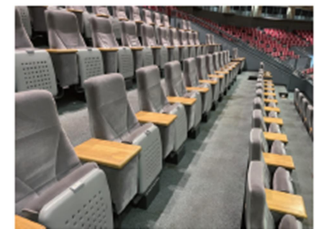
グリーンアリーナ改修イメージ

※ Bリーグとの調整状況に応じて変更する可能性がある。

1 スイートルーム設置場所（緑色）



2 スイートルームのレイアウト



3 イメージパース

(エリア全体)



(スイートA)



(スイートD)

